

活動記録 ～主な公務や地域行事など～ （個別の面談や訪問、会合などは除いています）

1月	2月
4 事務所仕事始め	1 靱手町新庁舎等建設工事 起工式
8 小竹町二十歳を祝う会、宮若市はたちのつどい	2 後援会 会長会
小竹町商工会 新春挨拶会	～20 活性化促進議連 合同管外視察@熊本県
9 麻生太郎 衆議院議員 新春国政報告会@直方	20 福岡県社会保険労務士会 賀詞交歓会
10 常任委員会（総務企画地域振興委員会）	21 靱陵新年宴会
11 農林水産委員会 管内視察@飯塚農林事務所 他	23 直方美容組合新年会
12 宮若賀詞交換会（宮若商工会議所・若宮商工会）	直靱自動車・次世代産業研究会 合同新年会
14 宮若市靱手郡連合消防出初式@靱手町立体育館	27 福岡県行政書士会 新春賀詞交歓会
特別委員会（スポーツ立県調査特別委員会）	28 J A直靱音楽祭
県美容生活衛生同業組合 新春賀詞交歓会	30 筑豊地区中小企業団体連合会 新年賀詞交換会
自民党宮若・靱手郡連合支部 役員会	

事務所・後援会からお願い

● 花田尚彦後援会への入会者募集

花田尚彦後援会への入会をお願いします。年会費はございません。各種案内や報告紙を郵送させて頂くことがあります。（預かった情報は個人情報保護法に基づき、後援会活動以外には使用致しません。）

● 発行紙等の配付のお手伝い

定期的に発行する報告紙や各種案内をお住まいの周辺にお配り頂くとお手伝いをしてくださると幸いです。

プロフィール



- 【主な略歴】
- 1986年(昭和61年) 5月14日 小竹町生まれ ○型
 - 小竹町立小竹南小学校・小竹中学校 卒業
 - 靱手高等学校 普通科 卒業(57回生)
 - 北九州市立大学 法学部 政策科学科 卒業
 - 衆議院議員秘書(私設5年、公設4年半)
 - 福岡県議会議員 初当選(2021年6月28日～)
 - 九州大学大学院 経済学府 修了(QBS 18期)

【家族構成】
父、母、妻、子4人
(長男、長女、次男、三男)

【好きな歴史上の人物】
大久保 利通

【座右の銘】
「成功者になろうとするな。
価値のある人間になれ。」
アルバート・アインシュタイン

私は、サラリーマンの父と専業主婦の母のもと、3歳上の姉と2歳下の弟の3兄弟の真ん中に生まれました。父方の祖父は昔、小竹町役場に勤めており、幼少期の私はよく祖父からまちの話を聞いていました。父方の祖母は靱手町の今村地区の出身です。母は宗像市で生まれ育ち、祖父母は養鶏場を営んでおりました(現在は同業者に譲渡)。祖母は宮若市の如來田地区出身です。こうしてみると選挙区である宮若市・靱手町・小竹町の全ての地域にご縁があります。

後援会連合会役員のご紹介



花田尚彦後援会連合会 会長
中島 健三

この度、花田尚彦県議の後援会連合会の会長を仰せつかりました。宮若市・靱手町・小竹町の各会長方と共に後援会結束に努めてまいります。皆様もどうぞご支援よろしくお願致します。



宮若市後援会 会長
中田 正夫



靱手町後援会 会長
梶原 寛



小竹町後援会 会長
池 哲也

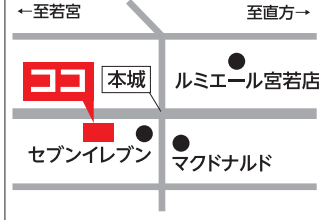
事務所案内

基本、平日9：00～17：00が開所時間です。
(土日開所は週によります)

〒823-0003 福岡県宮若市本城1108
(本城交差点セブンイレブン横・とり坊主さん隣り)
TEL：0949-32-1191
FAX：0949-32-1192
E-mail：n.hanada.fukuoka@gmail.com
HP：http://n-hanada.jp



駐車場は正面3台です。



編集後記

事務所員の有田好恵と申します。靱手町で生まれ育ち、現在も靱手町に住んでおります。県議が当選された年の秋から勤めさせていただいており、やっとうした資料を作成する仕事にも慣れてきました。私にとってこの業界に携わるのは初めての経験で、全てが未知の世界ですが、温かい地元の皆様のおかげで今日に至っています。行き届かない点も多々あるかと思いますが、皆様のお役にたてますと幸いです。事務所のお近くに見えられた際はぜひお茶を飲みにお立ち寄りください。今後ともご指導いただけます様、よろしくお願い致します。

(有田)

※本紙は私が得た各種資料や調査結果をもとに作成しております。細心の注意を払っておりますが、情報に誤りや表現に不適切な点がございました場合は事務所までご連絡くださいませ。

私の三信条

一.“多様な価値観”の尊重

世の中は答えが一つではないから難しく、だからこそ議論を重ねる政治の場で一定の決断をしていかなければなりません。多様な価値観を尊重し、正面から向き合って参ります。

一.“新しさ”への挑戦

歴史を学び伝統を守ることを大切にします。一方で進展の速い現代の技術や制度を取り入れていくことも重要です。経験や年齢に固執せず常に新しいことを学び挑戦していきます。

一.“葉”としての存在

花の成長や見映えには葉の存在が大切になります。花は住民や事業者であり、その一人ひとりの花を引き立たせる“葉”の存在に私自身はなりたいたいと思います。メインカラーがグリーンなのはこのためです。

地元自治体選挙結果

4月23日に靱手町議会議員選挙(13名)の投票が行われ、次の方々が選出されました。私も地元の発展のために共に協議を重ねてまいる所存です。(※一覧敬称略。議員の記載順は当選回数・年齢の順です。)

靱手町議会議員選挙

議 長	野 的 信之 ②		
副議長	許 斐 英幸 ②		
	宇田川 亮 ⑨	星 正彦 ⑦	
	田中 二三輝 ⑥	西 藤 典子 ③	
	野口 美恵子 ⑥	栗田 美和 ②	
	新谷 留晴 ②	篠原 哲哉 ②	
	有働 徳仁 ②	許 斐 潤一郎 ①	
	石井 大輔 ①		

【有権者数】	12,767	
【投票総数】	7,073	【投票率】55.40%

訂正があります

【2号】2022年5月発行

- ・3ページ 私が質問している写真の見出し
“決算特別委員会”⇒“予算特別委員会”

【4号】2023年1月発行

- ・1ページ 「【2月定例会】の【◎代表質問とは?】」の文章の最後「～41分25“分”で」⇒「～41分25“秒”で」
- ・3ページ 「数字で知る私たちの街」の実質公債費率の60市町村平均 “87.1%”⇒“6.3%”

福岡県議会議員
宮若市・靱手町・小竹町 選出

はなだ
花田尚彦



2期目の当選 一県議会の新たな構成と私の新しい役職一

2期目への挑戦は、『共に、前へ。』のテーマの下、この地域が一致結束していく必要性を訴えさせていただきました。2月19日(日)に行った県政報告会・事務所開きには多くの皆様が駆けつけてくださり、地元代議士の麻生太郎副総裁も激励に事務所までお越しいただきました。3月31日(金)の告示日は、天照宮での神事の後、宮若市宮田地区⇒若宮地区⇒靱手町⇒小竹町の順で出陣式を行いました。同日17時の時点で私以外に立候補届出がなかったため当選が確定し、選挙期間後の4月10日(月)に当選証書を受け取りました。新たな県議会の構成と私の役職は以下となります。



たくさんの為書きや推薦状



天照宮にて出陣祈願



4地区での出陣式



告示日17時に当確で万歳三唱



当選証書の授与

県議会の構成 (令和5年7月1日時点)			
【会派構成】総数87名	※会派所属人数、◎が交差点会派	【正副議長】※敬称略	
◎自民党県議団 44名(過半数)		第73代 議長 香原 勝司 (直方市・4期・自民)	
◎民主進歩県議団 22名		第86代 副議長 佐々木 允 (田川市・3期・民主)	
◎公明党 10名	◎新政会 5名		
○日本維新の会 3名	◎緑友会 1名		
◎桜和会 1名	◎至誠会 1名		
【議会議長】15名			
【常任委員会】			
●総務企画地域振興委員会 11名			
●厚生労働環境委員会 11名			
●県民生活商工委員会 11名			
●農林水産委員会 11名			
●県土整備委員会 11名			
●建設都市委員会 11名			
●文教委員会 11名			
●警察委員会 10名			
【選挙区別】			
・福岡市内 23名	・北九州市内 15名		
・福岡地域 20名	・北九州市域 6名		
・筑後地域 15名	・筑豊地域 8名		
【年齢別】			
・1期 23名	・2期 15名		
・3期 8名	・4期 18名		
・5期 5名	・6期 8名		
・7期 7名	・8期 1名		
・10期 1名	・11期 1名		
【調査特別委員会】※正副議長は入りません。			
●空港・交通インフラ調査特別委員会 14名			
●子育て支援・人材育成調査特別委員会 15名			
●再生可能エネルギー調査特別委員会 14名			
●国際化・多文化共生社会調査特別委員会 14名			
●福祉・地方分権調査特別委員会 14名			
●スポーツ立県調査特別委員会 14名			
【男女別】			
・男性 74名	・女性 13名		

私の新しい主な役職 (令和5年7月1日時点)

【会派】自由民主党福岡県議団 副会長

相 談 役	藏 内 勇 夫 (10期)
会 長	松 尾 統 幸 (7期)
幹 事 長	中 尾 正 幸 (6期)
筆 頭 副 会 長	秋 田 幸 二 (5期)
副 会 長	桐 明 和 久 (4期)
副 会 長	江 頭 祥 一 (3期)
副 会 長	花 田 尚 彦 (2期)
政 務 会 長	林 泰 輔 (1期)
	浦 伊 三 夫 (3期)

【常任委員会】農林水産委員会 副委員長

農林水産物の生産基盤の整備、農林水産物の生産及び流通の安定、農林水産業生産組織の育成強化、農林水産業関係試験研究機関の整備、農山漁村環境の整備、山地・林地等自然環境の保全、食と農林水産業に係る啓発、農林水産業へのIT導入などについて審査及び調査を行います。

【調査特別委員会】子育て支援・人材育成調査特別委員会 委員

子育て支援並びに子どもの権利の保護及び健全育成に関する諸調査、働き方改革及びジェンダー平等の推進に関する諸調査、人材（人材）育成及び教育施策の充実に関する諸調査、その他少子化・人口減少社会に関する諸調査を行います。

【自民党福岡県連】青年局長

45歳以下の所属党員で構成する青年部や学生部を取り仕切ります。

ご挨拶

春の県議会議員選挙におきまして2期目となる任期を預かりました。定数1に対し立候補者が私のみであったため無投票となりましたが、多くの皆様の思いを託されたものと受け止めています。しかしながら、議員としての在職は一昨年6月の初当選からちょうど2年であり、本来であれば任期4年間のまだ折り返し地点でもあるわけです。2期生としての役割や責任はもちろんございますが、一方で新人としての気持ちも忘れず臨んでまいりたいと思います。また、お世話になった皆様には一軒一軒、御礼廻りや挨拶状をお送りしたいところではございますが、これらの行為は公職選挙法で禁じられておりますので、この活動報告紙やお会いする場などを通してその思いをお伝えさせていただきますことをどうかご容赦いただきたく存じます。

さて、当選後早速、5月臨時会が2日間開催され、新たな正副議長や常任委員会の選任が行われました。私

は農林水産委員会の副委員長を拝命致しましたので、県内農林水産業の振興に全力を尽くしてまいります。その後は総会シーズンに突入しましたが、5月8日からコロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類へと変更されたこともあり、ほぼ全ての総会が対面式で行われました。懇親会も復活したことで、多くの地域の声や課題をよりお聞きすることができています。6月に入ると初となる定例会が開かれ、補正予算等審議のほか、議会内の様々な役職も順次決まり新たな体制での議会が本格的にスタートしました。2月定例会で成立させた本年度当初予算もいよいよ具体的に動き出し、コロナ明けの経済活性化策や燃料・物価高対策に加え、これまで停滞していた県内のあらゆる施策も再び進め直していかなければなりません。国政においても通常国会が6月21日に開会し、防衛費増額に向けた財源を確保するための法律や少子化対策の強化、改正出入国管理法やLGBTQの方たちへの理解増進に向けた法律などの議論が注目されましたが、与野党ともに内部でも様々な意見が交わされていたような印象でした。これらの課題は我々地方においてもあらゆる場面で直結するものもあり、とりわけ価値観の変容や容認は簡単に線引きできないからこそ難しいものでもありますが、社会の分断を助長することがないように我々議会人は常に気をつけて臨んでまいらねばならないと実感する次第です。

福岡県議会議員 花田尚彦

